

第6回

「東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業事業者選定委員会」

「東京国際空港国際線地区貨物ターミナル整備・運営事業事業者選定委員会」

合同委員会議事録

日 時：平成 18 年 4 月 21 日（金）

○事務局 それでは、ただいまから第6回東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業及び同地区貨物ターミナル整備・運営事業の合同の事業者選定委員会を開催させていただきます。

○○委員長、よろしくお願いいたします。

○委員 本日は最後になりましたけれども、皆様のご協力によって、何とか結論までたどり着けたと思っております。本当にありがとうございました。

議事に入りたいと思っておりますけれども、ご承知のとおりでございます。7日に行われました前回の第5回の委員会で、旅客、貨物双方ともに委員会としての得点案を固めたところでございますが、その後、先週 13 日、14 日とヒアリングを行いました。この議論におきましても、得点案を修正するだけの特段の事情はないということになりました。

そこで、お手元の資料にありますとおり、委員会としての得点案を確定したいと思っております。この得点案につきましては、委員会から国に提出する形になるわけでありまして、今後の段取りについて事務局から説明をお願いしたいと思います。

○事務局 今回、ご議論いただきまして決まったことになり、本日、この後、プレス発表をさせていただくわけでございます。基本的には合計得点を発表させていただき、その後、協定の締結をもって正式に相手が決まりますので、計画ごとの点数と講評を入れて公表するという段取りになってございます。

最終的な仕上がり、委員会の仕上がりといましては、応募グループ名をいれさせていただきましたが、資料 1-7 という A4 の資料がございます。それから資料 2-6、この 2 つでございます。A4 のものがございます。ございますでしょうか。資料 1-7 と資料 2-6 でございます。この 2 つが今回の委員会として国に報告するものでございます。

資料 1-7 の方が旅客ターミナルビル等整備・運営事業に関する得点案で、本日の 4 月 21 日の委員会名で国に対して、グループごとに配点に応じた得点を記載いたしまして、報告する形になってございます。

同じく資料 2-6 の方は貨物の方で、同じように、4 月 21 日付で、チームごとに配点に応じた得点を委員会として国にこのように報告いたします、という形でご報告いただくということでございます。

これを受けまして、今回、これでご了承いただきますと、東京航空局の方で正式な決裁をとりまして、委員会のおとり、国としても、第1の選定事業候補者として、旅客につきましては甲グループ、貨物につきましても甲グループ、それぞれ次点を、旅客につきましては乙グループ、貨物につきましては丙グループを発表させていただくということでございます。

そのほか、お手元でございます資料1-3等の資料は、これまで見ていただいたとおりでございますが、今、この得点案ということで細かく書いてある項目が公表されます。

そこで、本日、プレスに出す資料でございますが、お手元の資料3でございます。この形で公表させていただければと思っています。これは、委員会ということではなく、本省航空局及び東京航空局名で以下のとおりで決めました、と。ですから、本日いただきまして、局の方で決裁をとって、決裁が終わり次第、これを公表することを考えています。

ご覧いただきますとおりに、資料は、旅客ターミナル部分につきましては、合計点で、乙678、丙612、甲774。それから、その下の段に、得点内訳、審査講評等、審査に関する詳細及び提案内容については、後日公表する予定ということで、詳しい中身については講評案ができた段階で公表いたします。基本協定が結ばれた後、正式に決まった段階で、こちらの詳しい配点と講評案をつけて公表する段取りにしたいと思っております。

以上が事務局からの説明でございました。

○委員 ありがとうございます。

今の事務局からのご説明に対して何かご質問あるいはご意見等ございますでしょうか。

○委員 いいですか。今の説明、わかりにくかったので。

本日は、資料1-7と2-6を出す。その後、資料3で公表ということですか。

○事務局 基本的には資料1-7と2-6を使って、こういう点数でこういう差になりましたということを公表します。

○委員 そうすると、この表が出ていくということですか。

○事務局 この表が出ていきます。そして、講評案。講評案はこれから作りますが、甲はこういうグループでした、乙はこういうグループでした、丙はこういうグループでしたということで、基本的には、それぞれのいいところを書いて、それから、当然、点数の差がついた部分についてコメントして、持ち回りで先生方に見ていただきまして、国の責任のもとで講評案を出す段取りになってございます。

○委員 そのほか、いかがでございましょうか。

○委員 全体的な考え方を最後に述べさせてもらいたいのですけれども。

今回の場合、通常と違って独立採算型で、それも建設から運営まで、非常に幅広くカバーするというので、今回のPFIは、おそらく、日本のPFI事業で最も難しいPFIだったのではないかと。それも、旅客と貨物を同時に選定したことで、国交省の事務局は、大変な苦勞をされたと思います。そのご努力に対して心から感謝したいと思います。

しかも、旅客や貨物の需要は、成田空港との調整の問題や航空交渉といった経済外的な要因に依存する面が非常に多く、需要の予測が非常に困難で、結局、旅客は700万人、貨物は50万トンという仮想のパラメーターを与えることによって、入札者には事業モデルを提案してもらった。このために、入札者もモデルの構築に相当苦労したであろうし、我々も仮想のパラメーターと現実の予測が時々ごちゃごちゃになり、頭が混乱することもある、選定には相当苦労したと思います。

そのような面でも、このPFIは非常に難しいPFIだったと思います。そのうち、特に貨物ターミナルについては、入札者によってモデルが相当異なったために、選定が非常に難しくなったと思います。選定結果について違和感を抱く入札者もいるのではないかと思います。これはやむを得ない面があったとは思いますが、やはりもう少し国土交通省の方で発注の絞込みを行っておけば、この辺の問題はもう少し少なくなってきたかと思っています。そのようなことから、こうした複雑なPFIにおいては、発注者は、要求内容の刷込みをできる限り行っていくことが重要だという教訓を得たのではないかと考えています。

今、違和感を抱くと言いましたが、選定結果の説明に当たっては、落札・入札者の納得が得られるような説明を行うように、事務局として努力していただきたいと思っています。

それからもう一つ、選定委員会でモニタリングの適切性を随分議論したように思いますが、独立採算型のPFIですから、需要リスクも含めて、リスクは基本的には事業者が負担することになっていますので、事業開始後は事業者の自由かつ独立した経営を阻害しないような形での、つまり、利用者のニーズに事業者が行ったことが適合しているかどうか、ということをしっかり見るようなモニタリングをする仕組みを政府として考えていく必要があるのではないのでしょうか。

したがって、事業者の経営体制がどうなっているかというモニタリングではなくて、顧客満足調査は相当やることになっていますから、顧客満足調査と連携した形で安全性の確保等、いろいろな面があると思いますけれども、提供されるサービスの水準についてしっかりしたモニターを行う。つまり、パフォーマンスに重点を置いたモニターが的確に行えるような仕組みをつくっていく必要があるのではないのでしょうか。このような面で、今後とも事務局がさらに努力を続けることを期待したいと思います。どうもありがとうございました。

○委員 ありがとうございました。

ただいま、ご意見をいただきましたが、これは事務局の方で受けとっていただいて、今後の展開に生かしていただければと思います。そのほかにご意見はいかがでしょうか。

それでは、議事の方はこれで終了になります。

その後、事務局から何かありましたら……。

○事務局 役所としては、世間に向かって、このようないいところを選びました、ということを中心に説明しなければいけないと思っています。

そこで、私どもの今の考えとしては、これはまたご相談を個別にすることになると思いますけれども、基本協定が結ばれるような、おそらく、1カ月ぐらいかかると思いますが、その時点で、まとめてきれいな模型やパース、あるいはこの人はここが優れているなど、そのような説明を世間に対してきちんとできる機会を設けようと思っています。これだけの事業ですので、世間の方も、このようにしていいものが選ばれた、と納得していただくことがとても大事だと思っています。公表の段階ですることは考えていません。

○委員 どのタイミングで、プレスでやるのかどうかよくわかりませんが、世の中に示すかというのがあって、選定直後というのが一つと、基本協定までに、今回のように1カ月ぐらいとって、不明確なところをある程度固めて、これで動かない、と。そして、後の期間は会社をつかって、事業計画を締結する。どちらかというとな務的に流しておく。この場合ですと基本協定が結構重くて、どこかのタイミングなのでしょう。公表のタイミングとすると、5月の末の基本協定のころになるのかもわかりません。

○事務局 そのころには模型なども出せばと思っています。

○委員 負けたところも、写真くらい、パースなども出してあげたいですね。

○委員 それも、了解がとれれば、比較する意味で。やはりいいのが選ばれていると思ってもらえるのは大事ですから。

○委員 一番いいのは、3つともすごくいい提案だった。

○委員 難しかっただろうと。

○委員 そのほか、何かございますか。

皆さん、本当に熱心に審議に参加していただいて、また、真剣にご討議いただきまして、私も結構な数のPFIを経験させていただいておりますけれども、これほど議論を白熱させたものも少なかったと思います。その結果、選ばれたものですから、一番素晴らしいものだと思っています。

本当にご協力ありがとうございました。

○事務局 それでは、以上をもちまして、第6回事業者選定委員会を閉会といたします。

委員の皆様におかれましては、大変お疲れさまでした。どうもありがとうございました。

(了)